

報道関係各位

院内がん登録 2011 年 10 年生存率集計 公表 小児がん、AYA 世代のがんの 10 年生存率をがん種別に初集計

2024 年 1 月 25 日

国立研究開発法人国立がん研究センター

国立研究開発法人国立がん研究センター(理事長:中釜斉、東京都中央区)は、国が指定するがん診療連携拠点病院等(以下、がん診療連携拠点病院等)を含む院内がん登録実施施設から収集した院内がん登録情報を用いて、2011 年診断例の 10 年生存率集計結果を報告書にまとめ公表します。

国立がん研究センター がん情報サービス「がん統計」報告書ページ

https://ganjoho.jp/public/qa_links/report/hosp_c/hosp_c_reg_surv/index.html

結果のポイント

- がんによってはその特性上、性別、年齢、ステージ、手術の有無により、生存率に違いがあり、その解釈には留意が必要です。

◆ 院内がん登録 2011 年 10 年生存率集計

- 341 施設 363,521 例(前回 316 施設 341,335 例)の院内がん登録データを用いて 10 年生存率を集計した結果、全がんのネット・サバイバルは 53.5%(前回 53.3%)でした。
- 10 年という期間の経過をみるため、がんによっては年齢階級別の実測生存率とネット・サバイバルに大きな差がみられました。これは年齢が高くなるほど、がん以外の原因で亡くなる確率が高くなることが影響していると考えられました。

◆ 小児がん、AYA 世代のがんの 10 年生存率集計

- 国際分類による小児がん、AYA 世代のがんの 10 年生存率を初めて集計しました。
- 小児がんにおける白血病は 5 年実測生存率 88.4%、10 年実測生存率 86.2%で、脳腫瘍は 5 年実測生存率 73.5%、10 年実測生存率 71.5%と、5 年から 10 年での生存率の低下はあまりみられませんでした。
- AYA 世代のがんにおける脳・脊髄腫瘍は 5 年実測生存率 83.5%、10 年実測生存率 77.8%で、子宮頸部・子宮癌は 5 年実測生存率 88.6%、10 年実測生存率 87.2%と、がん種によって 5 年から 10 年での生存率の低下は様々でした。
- 小児がん、AYA 世代のがんに関する予後情報は限られており、今後の小児がん、AYA 世代のがん対策を考える上で基礎的な資料の 1 つになることを期待します。

【生存率の種類】

生存率には、その算出の仕方によって大きく「実測生存率」、「疾病特異的生存率」、「相対生存率」、「ネット・サバイバル(Net Survival, 純生存率)」にわけられます。本報告では、実測生存率とネット・サバイバルを用いて算出しています。

• 実測生存率

死因に関係なく、全ての死亡を計算に含めた生存率で、診断例に対する何年後の生存患者の割合で示されます。計算方法は複数存在するが、Kaplan-Meier 法による実測生存率であることが多く、本報告においても Kaplan-Meier 法を用いて実測生存率を算出しています。

• 疾病特異的生存率

がん以外の死因による死亡を「打ち切り」として計算するため、正確に推定するためには、死因がが

んであったかを把握する必要があります。がん以外の死因も含めるか否かで集計結果が変わるため、死因の把握が困難な日本において、この計算方法を用いることは現状難しいと言えます。

- **相対生存率**

実測生存率を対象と同じ性・年齢、診断年(歴年)の一般の日本人集団で「がんではなかった場合の生存率」という考えによる期待生存率を算出し、それで実測生存率を割って算出する方法です。疾患特異的生存率のように個々の死因を把握する必要がないため、これまで院内がん登録生存率集計でも用いてきました。一方で、生存率の高いがん種では理論上 100%以上となるなど課題も多いことが知られています。

- **ネット・サバイバル(Net Survival, 純生存率)**

期待生存率を算出することなく純粹に「がんのみが死因となる状況」を仮定して計算する純生存率(Net Survival, ネット・サバイバル)を計算する方法が Pohar-Perme 法です。この方法は国際的にも広く採用されている方法であり、本報告においてもネット・サバイバルを採用しました。

◆ 院内がん登録 2011 年 10 年生存率

【概要】

がん診療連携拠点病院等をはじめとする院内がん登録実施施設の院内がん登録データを用いて、5 回目となる 10 年生存率を算出し報告書にまとめました。

【収集対象】

2023 年 4 月 1 日時点のがん診療連携拠点病院等 456 施設、成人の拠点病院に指定されていない小児がん拠点病院 6 施設、及び 2011 年診断例の院内がん登録全国集計時にがん診療連携拠点病院であった 28 施設と都道府県推薦病院 121 施設を加えた合計 611 施設に対して、10 年予後情報付きの登録情報(以下、10 年予後情報付腫瘍データ)の提供を依頼しました。

【集計方法】

集計対象 341 施設 363,521 例

調査依頼した 611 施設のうち、449 施設から 10 年予後情報付腫瘍データ 578,906 例が提供され、以下の条件を満たすデータ 341 施設 363,521 例を集計対象とした。

- 「自施設診断・自施設初回治療」、「他施設診断・自施設初回治療」の自施設初回治療例
- 悪性新生物<腫瘍>(新生物<腫瘍>の性状コード 3)
- 0 歳から 99 歳
- 全がんの生存状況把握割合 90%以上

【生存率の公表基準】

院内がん登録生存率の公表は、都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会がん登録部会において、以下のように決定しています。

- 全がんの生存状況把握割合が 90%以上の施設
- 集計対象が原則 30 例以上
 - 集計対象が 30 例未満の場合、生存率は非公開

【集計結果】

- 2011 年の全がんの実測生存率は 46.0%、ネット・サバイバルは 53.5%でした。(報告書 P27)
- 10 年という期間の経過をみるため、がんによっては年齢階級別の実測生存率とネット・サバイバルに大きな差がみられました。これは年齢が高くなるほど、がん以外の原因で亡くなる確率が高くなることが影響していると考えられました。

- これまで治癒の目安として、5年生存率が用いられることが多かったのですが、乳がん(女性)Ⅲ期や子宮頸・子宮体がんⅢ期、甲状腺がん(乳頭濾胞癌)Ⅳ期など、がんや病期によっては5年以降も長期的フォローアップが必要なことがわかりました。
- 院内がん登録開始初期(2007年より開始)のデータであるため、登録精度に課題はあるが、今後データが蓄積されることで、より詳細な集計ができるようになることを期待されます。

◆ 特別集計 小児 AYA がんの生存率

【概要】

院内がん登録 2018-2019 年小児 AYA 集計報告書で用いた分類である、国際小児がん分類(ICC 第3版/WHO2008 改訂版)と AYA がん分類(AYA Site Recode/WHO2008 改訂版)の主分類別にそれぞれ10年生存率を算出し、特別集計として報告書にまとめました。

【集計結果】

- 小児がんにおける白血病は5年実測生存率 88.4%、10年実測生存率 86.2%で、脳腫瘍は5年実測生存率 73.5%、10年実測生存率 71.5%と、5年から10年にかけての生存率の低下はあまりみられませんでした。
- AYA 世代のがんにおける脳・脊髄腫瘍は5年実測生存率 83.5%、10年実測生存率 77.8%で、子宮頸部・子宮癌は5年実測生存率 88.6%、10年実測生存率 87.2%と、がん種によって5年から10年にかけての生存率の低下の程度は様々でした。
- 多くの小児がんでは5年から10年にかけての生存率低下の程度は少なく、多くの小児がんは治療後の予後は良好であり、がんサバイバーとして長期合併症などに対する調査や支援が必要であると考えられます。
- AYA 世代のがんではがん種によって5年から10年にかけての生存率低下の程度は様々ですが、白血病などよりも多くの癌腫では生存率が低下しており、がん種ごとに合わせたフォローアップなどの対応が必要である可能性が示唆されました。
- 小児がん、AYA 世代のがんに関する予後情報は限られており、今後の小児がん、AYA 世代のがん対策を考える上での基礎的な資料の1つとなることを期待しています。

◆ 参考資料

- 院内がん登録 2011 年 10 年生存率集計(報告書)PDF ファイル
https://ganjoho.jp/public/qa_links/report/hosp_c/hosp_c_reg_surv/pdf/hosp_c_reg_surv_all_2010-2011.pdf
- 院内がん登録 2018-2019 年小児 AYA 集計(報告書)PDF ファイル
https://ganjoho.jp/public/qa_links/report/hosp_c/pdf/2018_2019_icccaya.pdf

【結果の解釈上の留意点について】

本集計で用いた 2011 年の院内がん登録データは院内がん登録が始まって間もない時期のものであり、成人のがん診療連携拠点病院からの登録が主となります。そのため、小児がん拠点病院 15 施設(2023 年 4 月時点)のうち今回の 2011 年登録データの集計に含まれているのは 4 施設のみで、小児がん登録数が特に多い 6 つの小児専門病院のデータはいずれも含まれていません。このため、小児がん拠点病院や小児がん連携病院で治療を受けることが多いと考えられる難治性や希少な疾患などが集計に含まれていない可能性がある部分集合のデータであり(注 1)、今回の生存率の結果は、小児がん医療の中心となる小児がん拠点病院や小児がん連携病院における状況を代表していないと考えられます。また、疾患群には予後の異なる複数の疾患が含まれていることや、前述のように難治性疾患が含まれていない可能性があることで生存率が高く見える点についても留意が必要です。

なお、今回の集計において15歳未満の小児がんの登録があった172施設の内訳は、2023年4月時点の指定に準拠すると、小児がん拠点病院4施設、小児がん連携病院86施設、小児がん拠点病院・連携病院ではないがん診療連携拠点病院78施設、それ以外の施設4施設です。また、小児がん1,237例の内、135例(10.9%)は小児がん拠点病院、941例(76.1%)は小児がん連携病院にて登録されています。
注1) データ集計年時点の小児がん拠点病院全15施設は2016年登録例から院内がん登録全国集計に参加しています。

【報道関係からのお問い合わせ先】

<院内がん登録生存率集計について>

国立研究開発法人 国立がん研究センター

がん対策研究所 がん登録センター 院内がん登録分析室

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

ダイヤルイン:03-3547-5201(内線 1600) E-mail:hbc_r_analysis@ml.res.ncc.go.jp

<その他全般について>

国立研究開発法人 国立がん研究センター 企画戦略局 広報企画室

担当:がん対策研究所 がん登録センター 院内がん登録室

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

ダイヤルイン:03-3547-5201(内線 3548)

TEL:03-3542-2511(代表) E-mail:ncc-admin@ncc.go.jp

がん診療連携拠点病院等/小児がん拠点/都道府県推薦病院

集計対象施設数：341施設 集計対象：363,521 生存状況把握割合：97.3%

2024年1月公表

部位		全症例	I 期	II 期	III 期	IV 期	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
全がん	症例数	363,521	--	--	--	--	67.6歳	97.3
	実測生存率	46.0	--	--	--	--		
	ネット・サバイバル	53.5	--	--	--	--		
食道がん	症例数	11,358	3,615	2,209	2,934	2,352	68.6歳	98.0
	実測生存率	26.9	50.1	29.7	14.5	6.2		
	ネット・サバイバル	31.8	59.9	34.7	16.7	7.1		
胃がん	症例数	51,096	32,653	3,816	3,482	10,415	70.4歳	97.5
	実測生存率	46.5	63.2	41.6	27.1	5.0		
	ネット・サバイバル	56.8	77.6	48.9	32.0	5.9		
大腸がん	症例数	43,618	11,223	11,770	11,353	8,635	69.5歳	97.3
	実測生存率	48.4	67.6	57.3	51.8	9.8		
	ネット・サバイバル	57.9	80.4	69.8	61.2	11.1		
結腸がん	症例数	28,406	7,222	8,226	6,850	5,690	70.7歳	97.2
	実測生存率	47.5	65.9	56.5	51.4	9.2		
	ネット・サバイバル	57.7	79.5	69.8	61.8	10.6		
直腸がん	症例数	15,212	4,001	3,544	4,503	2,945	67.4歳	97.3
	実測生存率	50.0	70.7	58.9	52.2	11.0		
	ネット・サバイバル	58.1	82.1	69.3	60.1	12.3		
肝細胞がん	症例数	14,398	6,203	4,439	2,692	819	70.5歳	98.2
	実測生存率	19.1	28.6	17.7	6.2	0.9		
	ネット・サバイバル	22.6	34.0	20.5	7.4	1.0		
肝内胆管がん	症例数	2,070	333	315	736	588	70.8歳	98.8
	実測生存率	9.4	29.8	18.2	4.4	0.7		
	ネット・サバイバル	11.0	34.3	21.6	5.0	0.8		
胆のうがん	症例数	2,728	736	560	244	1,091	73.5歳	98.5
	実測生存率	17.4	50.3	13.6	3.5	1.0		
	ネット・サバイバル	21.7	63.8	16.2	4.2	1.1		
膵臓がん	症例数	11,935	735	3,035	2,110	5,658	70.4歳	98.7
	実測生存率	5.2	27.6	9.1	2.9	0.6		
	ネット・サバイバル	5.8	31.4	10.3	3.2	0.6		
小細胞肺がん	症例数	3,965	326	229	1,347	2,014	70.1歳	98.9
	実測生存率	6.3	26.8	15.0	7.5	1.0		
	ネット・サバイバル	7.4	32.5	17.1	8.5	1.2		
非小細胞肺がん	症例数	40,717	16,648	2,764	8,845	11,733	70.4歳	98.2
	実測生存率	26.9	53.3	24.7	11.2	2.0		
	ネット・サバイバル	31.5	62.9	28.7	12.8	2.3		
喉頭がん	症例数	2,950	1,203	760	390	574	69.8歳	97.2
	実測生存率	48.8	60.2	54.5	34.1	27.6		
	ネット・サバイバル	60.2	74.2	68.7	41.8	32.4		
女性乳がん	症例数	30,436	13,386	11,520	3,653	1,698	59.6歳	96.8
	実測生存率	77.8	88.0	81.4	59.0	16.0		
	ネット・サバイバル	82.9	94.1	86.6	62.7	16.9		

部位		全症例	I 期	II 期	III 期	IV 期	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
子宮頸がん	症例数	6,380	2,877	1,045	1,463	895	54.2歳	94.9
	実測生存率	65.5	88.9	67.3	50.2	18.1		
	ネット・サバイバル	68.1	91.6	71.8	52.5	19.0		
子宮体がん	症例数	6,707	4,353	562	1,112	574	59.7歳	97.2
	実測生存率	75.5	87.0	78.1	62.5	16.8		
	ネット・サバイバル	79.6	91.9	82.6	65.2	17.4		
卵巣がん	症例数	4,782	2,021	427	1,382	776	57.0歳	96.4
	実測生存率	51.6	82.4	59.0	28.0	14.0		
	ネット・サバイバル	53.6	85.5	61.8	29.2	14.6		
前立腺がん	症例数	31,553	733	21,435	4,420	4,429	71.3歳	97.5
	実測生存率	67.1	71.9	75.1	69.4	28.3		
	ネット・サバイバル	85.4	93.7	95.4	87.3	37.4		
腎がん	症例数	7,438	4,952	387	821	1,177	65.3歳	97.5
	実測生存率	58.0	72.4	61.1	47.9	6.4		
	ネット・サバイバル	66.4	82.8	68.7	55.7	7.3		
腎盂尿管がん	症例数	3,014	606	398	923	927	73.1歳	98.0
	実測生存率	27.7	50.7	38.8	32.8	6.2		
	ネット・サバイバル	34.6	63.0	49.5	40.2	7.4		
膀胱がん	症例数	7,480	4,190	1,386	704	940	73.1歳	98.0
	実測生存率	39.3	51.5	30.9	26.6	11.6		
	ネット・サバイバル	49.8	65.4	39.1	33.6	13.9		
甲状腺 乳頭濾胞がん	症例数	5,846	2,373	321	1,692	1,389	58.1歳	95.9
	実測生存率	84.0	92.2	81.0	87.5	68.1		
	ネット・サバイバル	90.2	97.1	89.2	95.0	74.8		